

柏の葉スマートシティにおけるエネルギー・健康・防災の共通統合プラットフォームの構築

実施団体名	イーソリューションズ(株)、エーイーエムシージャパン(株)、千葉県柏市、(株)国際情報ネット、ストリートメディア(株)、日本ビューレット・パッカード(株)、三井不動産(株)、(株)メディシンク、ユーシーテクノロジー(株)		
実施地域	千葉県柏市 柏の葉キャンパス駅周辺	実施期間	平成24年12月～平成25年3月
事業概要	<p>公民学の協働体制で、エネルギー・健康・行政情報等のデータ基盤の連携を行う共通プラットフォームを構築した。主な構築システムは以下3つであり、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組①エネルギー(既存)・個人健康データ(新設)の統合見える化システム ・取組②共通ID(ucode)により、様々なデータ基盤を連携する住民向けマイポータル ・取組③デジタルサイネージ等を活用した地域情報発信/防災システム <p>健康データ見える化サービスによる健康増進効果の実証や、プラットフォームの機能検証、公共オープンデータ活用した地域・防災情報発信を検証した。</p>		
実証結果	<p>共通プラットフォームは将来的なマイナンバーとの連携等も視野に、ucodeを活用しオープンで拡張性のあるシステムとした。実証ではヒト・モノ・情報サービスに280の共通IDを付与し、エネルギー、健康見える化サービス、行政情報へのシングルサインオンでのアクセスを実現した。また、健康見える化サービス実証ではICT活用グループが未活用グループと比較し健康への関心度、健康意識の改善効果で優位な結果を得られた。防災面ではデジタルサイネージから提供される情報が、非常時のモード切替により地上波(NHK)の緊急放送へ切り替わる事を実証した。</p>		

